小中一貫教育推進　城山学園　　平成２８年７月１１日

学園コーディネーター通信

Ｎｏ　２８

学園ＣＯ　水﨑浩克

めざす学園像：家庭や地域と協働し、３つのＪを身につけた子どもの育成に専念する学校

城山学園　第２回合同研修会

「学習規律」　「学び合うこと」　よい研修になりました！

６月２８日（火）第２回目の合同研修会が赤間小で行われました。公開授業をもとにした研修会は本年度初めてであり、「学習規律」と「学び合い」について１つのモデルを提案していただいたと思います。

授業を公開いただいた９学級すべてを見てはいませんが、赤間スタンダード（学習中）に示された規律や約束は学習に臨む子どもの姿に現われていると感心しました。机上、声、発言座る姿勢（立腰）等学校全体に指導と励ましが行き渡っていると思います。

よい姿勢で集中しています！

学園内の他３校も同様に学習規律の指導が行われ、定着に取り組んでいます。まだ、定着が不十分な点は、一朝一夕にできるものではありませんが、指導項目をしぼって重点指導期間を設け全校一斉に徹底指導を行うことが大切かもしれません。しかも、教師によって年度によって変わることがないことが重要です。

城山学園４校では、どんな規律を小中一貫して養おうとしているか、ほぼ定着している規律は何かを点検してみる必要があるのではないでしょうか。

さて、授業中の学ぶ子どもの姿も定期的に自己点検してみることが必要です。**点検の視点は、「アクティブ・ラーニング」の視点＝深い学び、対話的な学び、主体的な学び**です。

□根拠に基づく自分の考えや問題（課題）解決に必要な情報（条件）を整理することができていたか（整理させたか）

□自分の考えを「書く」「読む」「発表する」「話し合う」などの言語活動に積極的に取り組むことができていたか（取り組ませたか、その時間を十分に設定したか）

□自分の考えをもちながらグループ活動やペア活動などに取り組むことができていたか（必要に応じて、場や形態の工夫をしたか）

□学習のふり返りでは、「わかった」「できた」など成果や課題について自覚したことを自分の言葉で書くことができていたか（ゴール像、評価規準にせまったか）

裏面へ

７月２０（水）は１学期の終業式。２１日から８月３１日までの夏休みを子どもは楽しみにしています。長期の休みの間に、学期中にはできにくい体験を数多くしてほしいのですが、「自分で自分の命を守る」ことに関しては、学校の指導と家庭・地域の指導や見守りが一致して行われることが非常に重要であると思います。特に、水の事故、自転車乗り、不審者対応については、保護者・地域の皆様、関係機関との連携協力が欠かせません。

自転車乗りについては、次のような場面で、ひやり、はっとしたり、実際に事故が起こったりしています。

〇交差点での一旦停止をせずにとび出した
〇駐車場出入り口で、車の出入りを確認しなかった
〇後方の安全を確認せずに道路を横断した
〇せまい道路で、人や車とすれちがう時にふらつき接触した
〇２列、３列と広がって走行し、人や車の通行を妨げた　　等々

自転車の安全な乗り方、利用の仕方等については、これからも学校と家庭・地域が一緒になって子どもたちを指導し見守っていきましょう。

【城山中生徒の自転車通学　今日も安全に！】